

一般廃棄物処理業等について

～現状の廃棄物の量や予測数量等を
精査し適切に対応～



みつ とう まさ しみづ
藤 正 光
首

緑 政 会

質

本市の一般廃棄物処理業等の現状と課題は

答 環境衛生課長

本市では収集運搬の受容量は十分に確保され、かつ適正に処理されていることから、平成22年度に新規の許可は出さないとの方針を打ち出しています。

しかし、今後は空き家の片づけや終活などにより排出される粗大ごみ、一時多量ごみ等が増えることも予想されますので、現状の廃棄物の量や予測数量等



を精査し適切に対応していきます。

家庭系一般廃棄物のうち、粗大ごみ及び一時多量ごみ等の収集は、竹田市や由布市などは市が委託を行っており、市民から利用しやすいといった意見もあり、本市も今後、委託による収集も検討したいと考えます。

椎茸生産農家の現状と課題は

～負担軽減対策や担い手確保
が喫緊の課題～

質

近年、高齢化等で生産量が減少しているが、原木シイタケを庭先まで供給が可能か。

答 農林整備課長

近年、そういった意見を生産者から聞き、市の課題と捉えています。椎茸振興会とも連携し、先進地研修も行い、検討しています。



質

クヌギ林を発電用の燃料として有効活用し
ては。

答 農林整備課長

燃料としてクヌギのチップも一部活用されていますが、発電利用に供する木質バイオマス証明事業者が証明した原木とされていることから、認定を受けていない個人の受け入れは原則行っていないのが現状です。

その他の質問
・景観計画と条例について



え とう たつ や
衛 藤 竜 哉

市民クラブ

将来の財政運営に大きな不安が

～現時点で危機的な財政状況に
陥ることは想定していない～

質

平成31年度の当初予算は291億円を超えた。これまでで一番大きな規模である。市民の安心・安全のための予算増が大きな要因と理解するが、将来の財政運営計画に大きな不安が感じられる。

今後、選択と集中、事業の見直しや延期、停止等の考えはあるか。

答 市長

実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率及び将来負担比率の4指標は、平成29年度決算値が早期健全化基準に対して余裕があることから、近い将来において危機的な状況に陥ることは想定していません。

今後、職員一人一人が意識を持って、經常収支比率の改善につなげていきます。

今年度も定員割れ。三重総合高校の 存在危機の再燃が危ぶまれないか

～市内の中学生や保護者に対し、
高校の魅力発信を積極的に取り組む～

質

三重総合高校の存続は大丈夫なのか。平成31年の受験者数が定員割れである。早急に対策を協議すべき事案と思うが、市の考えは。

答 教育長

現在、三重総合高校は野球部や剣道部だけでなく、吹奏楽部、演劇部、神楽部など文化部の活躍も目覚ましく市民に親しまれています。

一方で、学区制の枠がなくなり、市外の高校に進学する生徒の増加が心配されます。

三重総合高校の明日を拓く会を通して、今後も定数確保等の要望活動に取り組めます。

また、市内の中学生や保護者に伝える機会を増やすため、オープンスクールへの参加等、魅力の発信などに取り組めます。



三重総合高校